

## イベント・下町・エリアマネジメント ～大阪・ハンブルクの取組みから～

平成 22 年 8 月 22 日 (日)

大阪市立住まい情報センター

### <第 1 部> ドイツにおける市民文化に基づく市区更新

- 10.30-10.35 趣旨説明 大場 茂明 (研究プロジェクト代表・大阪市立大学教授)
- 10.35-11.15 地区開発と住みごたえー保全と増価とを結ぶ都市更新  
ディルク・シューベルト (ハーフェンシティ大学教授)
- 11.15-11.55 ドイツにおける再開発事業の担い手の現状と課題ー文化アイデンティティは単なる感情の産物か、それとも具体的な欲求か?  
ハンス・ヨアヒム・レスナー (steg 代表)
- 11.55-12.00 第 1 部のまとめ

### <第 2 部> 住みごたえのある町を目指す大阪・ハンブルクの取組み

- 13.30-13.40 地域資源と担い手ー住みごたえのある町をつくるための前提条件  
大場 茂明 (大阪市立大学教授)
- 13.40-14.00 観光ボランティアの案内で九条の町を楽しく歩く  
谷口靖弘 (大阪芸術大学短期大学部教授、大阪・九条下町ツアー主宰)
- 14.00-14.40 ザンクト・パウリは住みごたえのある町か?  
クルト・ラインケン (steg 不動産開発部門責任者)

[休 憩]

- 14.50-16.00 パネルディスカッション 司会進行・高梨 友宏 (大阪市立大学准教授)

- 主 催：大阪市立大学大学院文学研究科
- 共 催：大阪市立住まい情報センター
- 後 援：大阪市、ドイツ連邦共和国総領事館、ドイツ文化センター・大阪、大阪・ハンブルグ友好都市協会